

守る会三原則
決して争ってはいけない、争いの中
親に弱いものの生き方を強いること
親に強いものが生き残る、生き残る者があつて
も、個々重症児が、若く運動に参加する者は
も派を越えること、運動に参加する者は
最も弱いものを一人ももれ無く守る

第十七回 定期総会

交流会 ～みんなで語ろう～

定期総会



去る六月十六日夕、早川福祉会館において、第十七回定期総会が開催されました。
鈴木会長の挨拶に始まり、来賓挨拶、ビデオ上映をおこなったの活動報告、平成二十一年度事業報告、会計報告、監査報告、平成二十二年度事業計画、収支予算へと議事進行し、各議案とも承認を得、成立しました。
総会終了後、会員以外の方や支親している方も交え、「子の願い、親の想い」をテーマに交流会をもちました。参加者は在宅・施設入所、7対3位で、通所・通園・通学という日中活動におけるニーズや暮らしの場をどうしたらよいかという課題など、困っていることや悩んでいること、得た情報、注文など全員に発言してもらい、将来のことなども語り合いました。なかでも、今回は若い保護者の参加も多く就学期間に医ケアの必要な児童が増えている現状や、通学保障が乏しい実感を訴える声があ

上がっていました。
今、「障がい者福祉法（仮称）」制定に向け、障がい者制度改革推進会議総合福祉部会では具体的な議論に入っているとのことです。「地域で生活できる新法へ」という理念の元、部会における意見では、おおむね、問題は、社会資源が乏しいためサービスを選びようがない人へ入院していること、交流会に参加された方々の抱えている問題や課題は、重症心身障害（特に医療的ケアが必要な方）については今の施策のままでは構造的に難しい現状があると思われ
ます。
今回、参加したくても出来なかつた方々の意見などしりし集約させていくことが支える会の大切な役割であり、「地域で生きよう」としている障害者の命を守る「新法になつていくような議論が必要であることを感じました。



全国重症心身障害児(者)を守る会 平成22年度 近畿ブロック研修会 ご案内

日時：平成22年11月20日(土)
10:00～16:00 (受付 9:30～)

場所：ドーンセンター 7階ホール
(京阪電車・地下鉄谷町線：天満橋駅下車 東へ徒歩5分)
〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-49 06-6910-8500

主催：全国重症心身障害児(者)を守る会
全国重症心身障害児(者)を守る会 近畿ブロック
資料代：500円(昼食は、各自にてご手配下さいますようお願い致します)
*当日、受付にてお支払い下さい。

締切り：11月8日(月)
申込・問合先：大阪支部・事務局(申込は、FAX か Eメールでお願いします)
〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町5-15-28 育徳コミュニケーションセンター 2F
TEL 06-6624-2555 FAX 06-6624-2556
E-mail: osaka@sasaeru.or.jp

- 内容 -

中央情勢報告

全国重症心身障害児(者)を守る会
(昼食 ・ 休憩)

テーマ「重症児者の地域生活の現状と今後」

基調講演

講師：びわこ学院大学 教育福祉学部・教授 遠藤 六朗氏
元びわこ学園障害者支援センター・所長

報告

大阪府障がい福祉室 地域生活支援課 課長 福岡 康夫氏
他、母親より、現状とこれらについて報告

編集後記

支える会の交流会や全国大会など、親御さんからは発言の機会がありませんが、自身の意思表示が難しい人たちは果たして何を願っているのでしょうか？ 今回の障害者制度改革の目指すところの基本は、障害者権利条約の批准にあること、まさに、障害者本人を主体に置いて進んでいる改革の流れの中で、本人の心の叫びを汲み取ることが容易ではありませんが、それこそが大切だと思えます。

編集委員 一同

編集・責任者
大阪府大阪市阿倍野区阪南町五-15-28
育徳コミュニケーションセンター2F
TEL 06-6624-2555 FAX 06-6624-2556
郵便振替口座 〇〇九二〇九一九六九五八
大阪府重症心身障害児・者を支える会

発行所 大阪身体障害者団体定期刊行物協会

〒530-0504 大阪市北区南森町二丁目二二〇五〇七

(会費の方は会費の中に含まれています)

平成二二年度事業報告

障害者自立支援法等の一部を改正する法律案の概要が出され、具体的なサービス体系の見直し作業が進められている中、衆議院選挙に野党が入れ替わり、政権が交代した。新政権が目指す方向は、内閣に改革本部を設置し、「自立支援法の修正」、利用者の応能負担を基本とする障がい者総合福祉法(仮称)の立案、「障害者権利条約批准に向けた国内法の整備」を一元的に進めるという画期的なものであり、障害者団体としての要請活動の重要性を再認識した。

地域生活活動の重要性を再認識した。地域で暮らし続けたいという願いに応えられる支援はどのように整備することができるのか、大きな課題を抱え、親や関係者を対象に講座や、シンポジウムを開催した。

昨年を引き続き、支援学校の医療的ケア部会と交流を持ち、卒業後の課題解決のための協力団体としての活動や、障害者権利条約批准実現に向け、条約と重症児者の抱える問題の関連性について議論を深めるため、活動に参加し他団体との繋がりを持った。

医療機関でもあり、福祉サービスのニーズにも応える重症心身障害児施設の役割を再認識し、大阪府下の重症児施設の実状などについて重症心身障害児施設の後援者交流会をもち情報交換をした。また、学校卒業後における医療的ケア問題について学習会やシンポジウム・研究会に参加し、情報提供をしている。

孤立しがちな重なり障害をもつ人のために、療育キャンプ・日帰りレクリエーションや、親同志が集まるという意見交換会、切羽詰まった状態や困難なケースの方をはじめ、会員家族からの相談に常時応じている。

重症心身障害児者の暮らしを支える施策は数量的にも不足しており、さらなる福祉向上のため、声を大きくしていく必要がある。

1. 会員の拡大のための事業
ホームレスの充実、ボランティアの配布、会員にむけた勉強会等を開催
2. 重症児者の医療的ケアの向上に関する事業
重症心身障害児者介護士養成講座
第1回 平成二二年〇月〇四日 (於 大阪科学技術センター)
第2回 平成二二年〇月三二日 (於 早川福祉会館)
第3回 平成二二年一月三日 (於 クレオ大阪南)
第4回 平成二二年一月八日 (於 大阪市総合生涯学習センター)
(於 大阪市総合生涯学習センター)
医療的ケア実技研修講座
第1回 平成二二年一月八日 (於 エルおおさか)
第2回 平成二二年二月九日 於 ソフィア堺
第3回 平成二二年一月六日 (於 東大阪市市民会館)
第4回 平成二二年二月六日 (於 エルおおさか)
第5回 平成二二年三月六日 (於 エルおおさか)
医療的ケアを考えるシンポジウム (於 堺市民会館)
平成二二年二月二七日 (於 堺市民会館)
3. 人材育成に関する事業
「重症心身障害児者介護者のための腰痛予防の体験」

月別活動報告

- 平成二二年
- 四月 運営委員会
ゆとりライオンズクラブ設立祝典参加(四日)
機関紙「支える」67号発行(二五日)
 - 五月 運営委員会
第一六六定期総会、情勢報告及び意見交換会(一六日)
重症障害者生活ホーム「クローバー」竣工式参加(六日)
 - 六月 運営委員会
機関紙「支える」68号発行(二〇日)
 - 七月 運営委員会
交流事業「レクリエーション」(二日)
 - 八月 運営委員会
大阪府との懇談会(一九日)
 - 九月 運営委員会
施設見学「ぶれいずBe」(一〇日)
「大阪障害フォーラム」(二二日)
「大阪障害フォーラム」(二二日)
「結成総会参加」(一五日)
 - 一〇月 運営委員会
交流事業「レクリエーション」(二六日)
機関紙「支える」69号発行(二七日)
 - 十一月 運営委員会
重症心身障害児者介護士養成講座
「医療的ケア調査研究」への協力
重症心身障害児者介護士養成講座
療育キャンプ(一四日・一五日)
医療的ケア実技研修講座(二八日)
 - 十二月 運営委員会

重症心身障害児施設保護者、交流会

- 平成二二年
- 一月 運営委員会
医療的ケア実技研修講座(九日)
交流事業「レクリエーション」(二三日)
機関紙「支える」71号発行(一七日)
 - 二月 運営委員会
医療的ケア実技研修講座(六日)
「重症心身障害児者介護者のための腰痛予防の体験と介助法」(二八日)
「医療的ケアを考えるシンポジウム」(二七日)
 - 三月 運営委員会
医療的ケア実技研修講座(六日)
「重症心身障害児者介護者のための腰痛予防の体験と介助法」(二八日)
- 守る会関係
- 近畿ブロック役員会
- 平成二二年 四月 四日 コミニティ嵯峨野
 - 平成二二年 六月 二日 コミニティ嵯峨野
 - 平成二二年 七月 九日 コミニティ嵯峨野
 - 平成二二年 八月 一日 コミニティ嵯峨野
 - 平成二二年 一〇月 二日 コミニティ嵯峨野
 - 平成二二年 二月 二日 コミニティ嵯峨野
- 全国大会
- 平成二二年 九月 三・四日 東京都
- 近畿ブロック4専門部会
- 平成二二年 九月 五日 京都市

と介助法 平成二二年一月八日 三月一八日

- 4 研究に関する事業
「医療的ケア調査研究」協力 平成二二年一〇月
- 5 施設見学(ぶれいずBe) 平成二二年 八月二〇日
交流事業 (於 早川福祉会館)
「情報報告及び意見交換会」(於 早川福祉会館)
平成二二年 六月二六日
レクリエーション「だんじり観覧」(於 杭金神社)
平成二二年 七月二日
レクリエーション「箕面公園散策」(於 育徳「ミニミニセンター」)
平成二二年 二月一八日
レクリエーション「おもちつき&新年会」
平成二二年 一月二三日
- 6 交際事業
大阪府障がい保健福祉室施設福祉課との懇談会
平成二二年 八月一九日
ODF、SDFへの参加、協力
岸和田支援学校 育成会泉佐野支部、肢体不自由児者父母の会泉佐野支部
重なり障害をもつみんもの未来を考えるつどい
「重なり障害をもつみんもの未来を考えるつどい」(於 地域に広がれ！医療的ケア・連絡会)参加
- 7 機関紙「支える」を年間計5回発行

「支える会」入会のご案内

大阪府重症心身障害児・者を支える会(全国重症心身障害児(者)を守る会の大阪支部)への入会についてご案内いたします。

- | | | | |
|-----------|---------------------------|---|---------|
| 【個人会員】 | 年会費 8,400円 | 本部「両親の集い」、
年会費 3,600円 | 「守る会」本部 |
| | 年会費 10,000(1口) | 本部「両親の集い」、
年会費 3,000円(1口)(運営資金の協力会員) | 「守る会」本部 |
| 【法人・団体会員】 | 年会費 10,000(1口) | 本部「両親の集い」、
年会費 3,000円(1口)(運営資金の協力会員) | 「守る会」本部 |
| 【協力会員】 | 年会費 3,000円(1口)(運営資金の協力会員) | 本部「両親の集い」、
年会費 3,000円(1口)(運営資金の協力会員) | 「守る会」本部 |

申込み・問い合わせは事務局までお願いします

2009年度 収支決算報告書

自2009.4.1至2010.3.31

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
41会費収入	1,046,300	81事務費支出	969,887
01正会員会費収入	959,300	01職員費給	0
02協力委員会費収入	87,000	02職員諸手当	0
42寄付金収入	207,300	03費	300,000
01寄付金収入	207,300	04法定福利費	0
43事業収入	814,640	05庶費	270,556
01バザー収入	0	06消耗品費	81,045
02その他の事業収入	814,640	07器具什器費	85,000
44補助金収入	3,802,000	08印刷製本費	29,588
01地方公共団体補助金収入	0	09充然水費	0
02公益事業補助金収入	3,802,000	10会議費	8,781
45本部助成金収入	722,347	11修繕費	25,116
01本部助成金収入	722,347	12通信運搬費	140,791
46雑収入	3,662	13手数料	14,860
01雑収入	3,662	14雑費	14,150
47設備資金借入金収入	0	82事業費支出	5,634,147
01設備資金借入金収入	0	01研修会開催費	4,191,514
48引当金収入	0	02レクリエーション活動費	1,339,398
01修繕引当金収入	0	03分会活動費	0
02備品等購入引当金収入	0	04調査啓発事業費	0
03人件費引当金収入	0	05機関紙出版費	103,235
49積立金収入	0	06その他の事業費	0
01建設積立金収入	0	83本部会費	518,650
02その他の積立金収入	0	01本部会費	518,650
83本部会費	518,650	84近畿ブロック会費	46,400
01本部会費	518,650	01近畿ブロック会費	46,400
84近畿ブロック会費	46,400	85雑支出	0
01近畿ブロック会費	46,400	01慶弔費	0
85雑支出	0	02雑支出	0
01慶弔費	0	86積立金繰入	0
02雑支出	0	01建設積立金繰入	0
86積立金繰入	0	02その他の積立金繰入	0
01建設積立金繰入	0	87引当金繰入	0
02その他の積立金繰入	0	01修繕引当金繰入	0
87引当金繰入	0	02備品等購入引当金繰入	0
01修繕引当金繰入	0	03人件費引当金繰入	0
02備品等購入引当金繰入	0	当期収入総計	7,169,084
03人件費引当金繰入	0	前期繰越金	273,003
当期収入総計	6,596,249	当期繰越金	
前期繰越金	645,838	収入合計	7,442,087
収入合計	7,442,087	支出合計	7,442,087

平成三年度事業計画

基本方針
重度の障害を持っている一人一人の間としての人格と個性を持っていくことを認識し、重症心身障害児・者が、当たり前の人として、当たり前前の生活を続けることを支えていく。

活動方針
政権交代後、コンクリートから人へと政策転換させることであるが、人へのの中身を更に「命を守る」ものにしていくこと、それを継続、発展させることを願わずにはおられない。「命を守る」ための政策に本当に重点配分されるのか、医療的ケアの必要な方の豊かな暮らしの場が保障されるような施策になっているのかが注視したい。
「サービスメニュー」があっても利用できないなど、障害の重い人が地域で生活していくうえで、必要十分なサービスが提供される仕組みにならなくてはいけない引き続き課題を整理する必要がある。真に当事者のニーズに沿った支援がなされ、有効に活用できる制度になっていくように、問題点を提起し、具体策を出していく必要がある。

重症児通園事業の法定化にあたっては、事業形態・仕組みが真に利用者側のニーズに沿った形による提言していかねばならない。特に医療的ケアが必要な人の地域での受け皿が無いに等しい状況をみれば、最も弱い人々を最も強く守ることが活動の理念から、施設実現に向け強く訴えていくことが重要である。施設給付の白割り方式については、現場の実態を踏まえ、福祉の現場で働きたいと希望する人たちの生活が保障され、労働条件が整えられるよう改正して

いた。又、重症心身障害児者が抱える様々な問題の解決に向けては、複数のサービスを利用できる制度なくしては成り立たない。施策の充実に向けて一人でも多くの理解者が増えいくことを期待し、重症心身障害児者の存在をアピールし、発信を続けていく必要性を強く感じました。

また、重症心身障害児施設の保護者相互の交流を通じ、入所施設の現状や課題などの情報を共有していきたい。より困難な状況にある人のため、最も弱い者を一人ももれなく守る、という会の理念に恥じることなく活動に取り組んでいくため、当事者の声を集約し、多くの課題を取り組まねばならない。そのためにも機関紙を通じた活動を充実させたい。

昨年に引き続き、地域福祉サービスの向上を目指し、重症児への支援者育成事業を執行し、共に、堺市の活動を中心とした施設開設に向けて当事者の声を伝える活動をしていきたい。

また、会員からの相談業務需要、及びこれからの福祉活動を助長し権利擁護に取り組んでいきたい。そして、福祉政策の充実を目指し他団体とも積極的に交流、協同していきたい。

事業計画

1. 会員の拡大のための事業
パンフレットの配布、会員に向けた勉強会等を開催し、会活動の理解を促す。また、各メディアを利用した広報活動を行っていく。
ホームページの運営により、情報の発信及び情報交換の場を持つ。
2. 研究に関する事業
会員並びに関係者等の情報交換及び研修の場として

お知らせ

大阪府は「重症心身障がい児(者)の生活実態や課題を把握し、これら障がい児(者)の地域生活支援策並びに生活の場の確保方策を検討する」という事業内容の

『医療的ケアが必要な重症心身障害児(者)等の地域生活支援方策に係る調査研究事業』をすることになりました。

大きな柱は、実態調査の実施(10月～12月)ということ。在宅の医療的ケアが必要な重症心身障害児(者)等 約2,000名の生活実態の把握については「支える会」として協力することになりました。

「大阪府重症心身障害児・者を支える会」は、大阪府への要望の中で実態調査の実施を常に強く訴えてきました。そして、重症心身障害(特に医療的ケア)という分野で活動し、大阪府とも話し合いの機会を継続してもらってきました。今回、この事業の調査検討会に「支える会」の代表が委員のメンバーに入ることになりました。関係の方々を代表してとの思いで参加しますのでご意見をお聞かせ下さい。

実施しているセミナーの開催、並びに汎性発達障害に関する研修会等各団体の研修会を開催する。
支える会「セミナー」
重症心身障害児者介護人養成講座
広汎性発達障害者に伴う重症児者のための研修会
施設見学

3 文法事業
会員相互の交流のための事業、並びに情報交換等のための会員の交流の集約等の実施
交流会などの実施
療育キャンプ
重症児施設保護者、交流会

4 啓発事業
大阪府並びに各市に積極的に情報提供を行うと共に実態に応じた施策の実施を求めたい。

5 機関紙の発行
会員相互の情報交換や情報提供の場として、また会活動の広報の場として機関紙「支える」を発刊し、会の活動の強化及び会員の拡大に努める。
(年間4回発行)



- 月別活動予定
- 平成三年度
- 四月 運営委員会(二二日)
 - 五月 機関紙「支える」発行
 - 六月 運営委員会(七日)
 - 第一七回定期総会・交流会(一九日)

2010年度 収支予算書

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
41会費収入	1,040,000	31事務費支出	465,000
01正会員会費収入	950,000	01職員俸給	0
02庶務員会費収入	90,000	02職員諸手当	0
42寄付金収入	320,000	03賞状金	0
01寄付金収入	320,000	04法定福利費	0
43事業収入	300,000	05旅費	200,000
01八景一収入	0	06消耗品費	80,000
02その他の事業収入	300,000	07燃料費	0
44補助金収入	900,000	08印刷製本費	35,000
01地方公共団体補助金収入	0	09光熱水費	0
02公益事業補助金収入	900,000	10会議費	20,000
45本部助成金収入	500,000	11修繕費	0
01本部助成金収入	500,000	12通信運搬費	100,000
46雑収入	0	13手数料	15,000
01雑収入	0	14雑費	15,000
47設備資金借入金収入	0	32事業費支出	2,290,000
01設備資金借入金収入	0	01研修会開催費	1,450,000
48引当金戻入	0	02レクリエーション活動費	700,000
01修繕引当金戻入	0	03分会活動費	30,000
02備品等購入引当金戻入	0	04調査啓発事業費	10,000
03人件費引当金戻入	0	05機関紙出版費	100,000
49積立金戻入	0	06その他の事業費	0
01建設積立金戻入	0	33本部会費	520,000
02その他の積立金戻入	0	01本部会費	520,000
		34近畿ブロック会費	35,000
		01近畿ブロック会費	35,000
		35雑支出	23,003
		01慶弔費	20,000
		02雑支出	3,003
		36積立金繰入	0
		01建設積立金繰入	0
		02その他の積立金繰入	0
		37引当金繰入	0
		01修繕引当金繰入	0
		02備品等購入引当金繰入	0
		03人件費引当金繰入	0
当期収入総計	3,060,000	当期支出総計	3,333,003
前期繰越金	273,003	当期繰越金	0
収入合計	3,333,003	支出合計	3,333,003

七月 運営委員会(五回)
支える会セミナー(二〇回)
勉強会
八月 運営委員会(二回)
勉強会
九月 運営委員会
「重症心身障害児施設」保護者・交流会
交流会事業・レクリエーション
運営委員会
機関紙「支える」発行
人材育成事業
（「重症心身障害児者介護人養成講座」）
一二月 運営委員会
療育キャンパス
二月 運営委員会
運営委員会
交流会事業・レクリエーション
平成三年 一月 運営委員会
人材育成事業
（「汎用性発達障害者に伴う重症児者のための研修会」）
二月 運営委員会
機関紙「支える」発行
三月 運営委員会
交流会事業・レクリエーション

平成三年 二月一日金・二日土
兵庫県（泊研修）
全国大会
平成三年 六月六日土・二十七日日 岡山県
近畿ブロック四専門部会
平成三年 九月四日土 コミニティ嵯峨野
近畿ブロック研修会
平成三年 一月(〇日土)・ドーンセンター
支部長会議
平成三年 五月〇日(日)「守る会」本部
平成三年 二月五日(土)・六日(日)「守る会」本部
専門部会長会議
平成三年 九月一日(土)・二日(日)「守る会」本部
新任支部長及び会員研修会
平成三年 二月四日(金)・五日(土)「守る会」本部

大阪府重症心身障害児・者を支える会役員名簿 任期2012年総会

役職	氏名	役職	氏名
1 会長	鈴木 祥子	10	岡本 汎美
2 副会長	寺岡 富子	11	新川 サカエ
3 副会長	成田 憲子	12	中谷 弘子
4 副会長	山村 寿子	13	柳 晴美
5 会計	吉村 志津子	14	原田 薫
6 会計監査	平野 健三	15	藤岡 咲子
7 運営委員	今井 清行	16	長谷川 幸子
8	上田 敦子	17	森田 靖子
9	津垣 良隆		


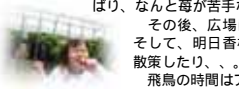
報告 交流事業 「いちご狩り&ハイキングに行こう」

去る4月24日、奈良県にて交流事業（レクリエーション）が行われました。

飛鳥の歴史を感じながら、農家の方が一生懸命育てて、車椅子から手が届くところにあるイチゴ狩りを楽しみました。アチラが甘い、コッチも食べてみてと賑やかに口の中にはおぼり、なんと母が苦手な方でも食べることができました。

その後、広場に移動してお弁当、自由行動、運動。そして、明日香村の直売所で買い物したり、高松塚を散策したり、。

飛鳥の時間はアツという間に終わるのでした。

財団法人 JKA 競輪補助事業

～地域で生きる力と将来への希望をつかもう～

療育キャンプのご案内

天橋立と舞鶴 一泊の旅



日程： H 2 2 年 1 0 月 1 6 日(土)～17日(日)

宿泊先： 宮津ロイヤルホテル

〒626-8510 京都府宮津市字田井小字岩本58

TEL 0772-25-1800 FAX 0772-25-1377

定員： 親子 12組

費用： 一人 13,000円

申し込み： ファックス、電話でお申し込み下さい。

申し込み・問い合わせ先：

大阪府重症心身障害児・者を支える会

〒545-0021

大阪市阿倍野区阪南町5-15-28 育徳コミュニティセンター2F

TEL 06-6624-2555 FAX 06-6624-2556

報告

交流事業 「トロッコ列車で京都嵐山へ行く」



去る6月19日、京都にて交流事業(レクリエーション)が行われました。

意気揚々とするばる訪ねたトロッコ列車は、強い風と大きな騒音で歓迎してくれました。景色を楽しむ余裕のある人もいれば、あまりのショックに苦しむ人も…。

やがて、なまはげならぬ「酒吞童子」が登場し、更に驚きや感動の旅に…。しかし、負けてはおられぬと、しっかりと鬼との記念写真を残すことができました。

大自然の中を走るトロッコ列車を体感することができました。

「支える会」事務局

〒545-0021

大阪市阿倍野区阪南町5-15-28

育徳コミュニティセンター2階

大阪府重症心身障害児・者を支える会

会長 鈴木 祥子

TEL 06-6624-2555

FAX 06-6624-2556

<郵便振替> 00930-9-69598

支える会ホームページのご案内

ドメイン名 <http://www.sasaeru.or.jp/>

メールアドレス osaka@sasaeru.or.jp

様々な御意見・御質問や情報をメール
や掲示板にお寄せ下さい。

全国・各地へリンクあり！



支える会セミナー開催

『医療的ケアが必要な重症児者と障がい者総合福祉法(仮称)』



去る7月10日にグランキューブ大阪において「支える会」セミナーが開催されました。障害者自立支援法の廃止を前提として、新しい制度の構築に向けた動きの中で、制度改革推進会議のメンバーである北野誠一氏と総合福祉部会のメンバーである清水明彦氏を招いての研修会には多くの方が参加されました。

北野氏からは、これまでの福祉の推進に向けた運動の流れを丁寧にお話しいただきました。本人の希望や意思がなごりにされてきた中で、選択肢のない暮らしが権利の侵害なのであって、ひとりの市民(人格)として尊重されるべきであり、家族(会)が介護者としてではなく、権利擁護者としての役割を担うべきものではないかというお話がありました。

清水氏からも、西宮の青葉園の活動や実践を通じてのお話で、重症児者が援護されているだけの存在ではなく、ひとりの人間として生きていくことに対してサポートをするということが必要ではないか、また、医療的ケアについて非医療職が行なっても良いというだけではなく、御本人との信頼関係も重要であるというお話がありました。

また、施設入所そのものが権利侵害である、或いは施設をなくすような議論をしているかのような誤解があることについて、丁寧に、そうではないことを説明していただきました。

質疑応答では、福祉、医療、教育の連携の不十分さや支援者の養成等について、また、一人当たりの支援費等の額についてまでも丁寧に話し下さいました。

あっという間に時間が過ぎてしまい、もっとお話を聞きたかったという印象でした。

最後に、この度の制度改革推進会議が今までにない形で議論がなされていることに大きな期待をするともに、清水氏が言われた「今度こそ、重度の障害の方を受け止められる制度にしてほしい」という言葉を同じように願わずにはいられません。

M.S.

大阪ゆとりライオンズクラブの皆様にご訪問下さいました。



去る6月24日、本会の事務局のある育徳コミュニティセンターに、大阪ゆとりライオンズクラブの皆様がご来訪賜り、ご寄付を頂きました。また、当日は運営委員の方々がご本人と一緒に来ていただき、大阪ゆとりライオンズクラブの皆様と交流の場を持ちました。

困難な面や体の様子など多くの質問をいただき、今後も様々な形で協力をして下さることでした。ご寄付だけではなく、重症心身障害という余り多くの人に知られていないことやその福祉が不十分なことについて、一緒に勉強して、じっくりと協力していきたいと言って下さったことが非常に嬉しく感じました。

これからも、未永く重症児者の福祉にご理解を賜りますことを心からお願い申し上げます。

K.S.